

新聞記事 【住まいが効く】より

五人のうち一人は、訳もなく憂うつな気分や不安になったり、いらいらしたりと「抑うつ状態」にあるといわれます。その原因は、脳内の神経伝達物質であるセロトニンの不足とする説が有力です。(16時間後には、睡眠を促し、身体を休ませるメラトニンも分泌されます。)セロトニンは住宅の採光とも深い関係があります。間取りやインテリアなどを含め、セロトニンや、メラトニンが自然に分泌されて気持ちよく感じられる家のプランを立てることが大切です。

例えば、寝室に朝日が差し込むようにするだけで寝起きの時の気分が良くなります。さらに食堂の東側に窓を設け、日差しを浴びながら食事をすれば、眠っていた体も自然にすっきりとします。日中、カーテンを閉じたままにしたり、日が当たらない部屋で過ごしたりすることが多いとそれだけで憂うつな気分になり、不安な気持ちになったりします。高緯度の地域では日照時間が短くなる冬の期間に、うつ病を発症しやすくなることも報告されています。

せっかく建てた新居に入居したら、憂うつな気分になってしまったということのないよう、十分目配りしたいものです。

住宅プロデューサー・織山和久

新築現場情報

1邸で実験的に取り入れている初めて使用する材料の紹介

真夏の太陽の熱線をはね返す、新時代の遮熱材

【アストロフィルム】

夏場の屋根は太陽の電磁波で発熱し55℃～70℃位に上昇します。この高温の屋根が住宅全体に輻射熱を放射して温度を上げます。屋根下をアルミ純度99%、反射率97%の遮熱材で覆うことで、輻射熱をはね返します。



夏季の室内への熱の侵入を大幅にカットする壁用

【遮熱エアテックス】

従来の壁用透湿・防水シートに遮熱機能を付加したシートです。外壁材の放射熱をアルミ蒸着層が反射することで、断熱材が吸収する熱が大幅に減り、内壁を通した室内側への熱の進入も相当量減少します。



体感ルーム見学 住まい教室 随時募集中です。お申込みは下記まで!

㈱ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

木くばり

今さら人には聞けない
木の話 2

No. 91

発行 '10-11月号

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

世界最大の木造建築は...

大多数の日本人は、世界最大の木造建築は東大寺の大仏殿であると信じている。また、ものの本にもそのように紹介されていることが多い。しかし、この常識はもはや完全に過去のものである。大変残念なことではあるが、大仏殿は世界最大どころか日本最大でもない。

日本最大の木造建築は秋田の大館樹海ドームである。樹海ドームは長径178m、短径157m、高さ52mであるから大仏殿の正面57m、奥行き51m、高さ47mよりはるかに大きい。北米のワシントン州にあるタコマドームもスパンが160mあって、樹海ドームと勝負である。

筆者が、バージニア工科大学で在外研究していた20数年前、老教授が「世界最大の木造建築はおそらくオレゴンの飛行船格納庫だよ。」と写真を見せてくれた。この写真は、工事中であったが、完成時には奥行きがなんと300mもあったようである。教授に「現存しているのか?」と聞くと「おそらく…」という返事であった。先日、インターネットで検索してみたら、この飛行船格納庫は健在で、現在も航空博物館として使用されていることが判明した。もちろん、これが世界最大の木造建築なのかどうかは不明であるが、容量的には大仏殿の4~5倍はありそうである。

興味のある方は「Oregon Blimp」で、上記博物館のホームページを検索していただきたい。そのほかばかばかしいほどの巨大さに驚かれること間違いなしである。



東大寺 大仏殿



秋田 大館樹海ドーム ↑



オレゴン 航空博物館



参考資料:「今さら人には聞けない木の話」、インターネット